

市民ネットワーク 議会通信

2020年
千葉市議会第1回定例会
2月18日～3月16日

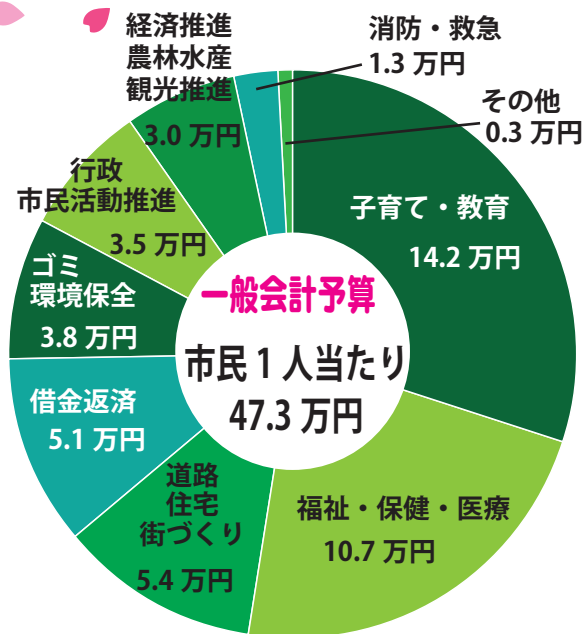


岩崎明子
(若葉区)

松井かよ子
(美浜区)

防災対策など攻めの予算に賛成

新型コロナウイルスの影響で歳入減少の懸念も？



● 予算規模

| | | |
|------|-------------|-----------------|
| 一般会計 | 4636億円 | (市民1人あたり47.3万円) |
| 特別会計 | 4112億9300万円 | |
| 合計 | 8748億9300万円 | |



千葉市 HP
「令和2年度予算」

2020年度の予算に賛成しました。昨年の台風や大雨による被害をふまえた「防災対策」や「市民生活の向上」そして「市の発展につながる施策」に力を入れることになっています。

一方、課題としては、介護や子育ての分野での経費が増加しており、厳しい財政運営が続きます。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡がりにもとない、景気の減退が懸念されます。歳入面の大幅な減少が予想されることから、国の方針や財政支援に応じて補正予算を組んだり、予算の執行について見直しをせざるをえなくなったりする可能性もあります。

引き続き、歳入と歳出のバランスを考えること、各種事務事業を見直すこと、変更の際には、市民の声を聞き、きめ細やかに説明をし、地域のニーズに寄り添った施策を展開するよう要望しました。

議会最終日の討論の中で、以下の要望を行いました。 松井かよ子（美浜区）

災害に強いまちづくりに向けた「防災対策」

- 避難所運営委員会や自主防災組織への活動支援と団体同士の交流の場づくりを
- 防災備蓄品の整備拡充を
- 全ての防災リーダーが活動できる場づくりを
- 避難行動要支援者名簿の有効活用を
- 発電機などの防災設備や機器について、定期的な防災訓練での活用を
- ゴミステーションへの掲示板設置など、災害時の情報伝達の工夫を
- ペットを連れていける避難所の継続的な設置を

未来へつながる「ひとづくり」

- 教育委員会だけでなく、総務局の「千葉市いじめ等調査委員会」が第三者機関として保護者や市民からの調査申し立てにも迅速に対応できるよう、あり方について再検討を
- 職員採用試験の一部区分で、受験可能年齢の上限を28歳から59歳に引き上げるることについて、「いくつになっても

- やり直しができる」とのメッセージの発信を
- 児童相談所の一時保護所の環境整備を
- 保育園の一時預かりについて、突然のニーズにも対応できる取り組みを

本市のグランドデザインを実現するための「まちづくり」

- 千葉公園の再整備や加曽利貝塚の史跡整備、身近な公園のリフレッシュなど、それぞれの施策が地域活性化のけん引役となるように
- ホームシェア(イベント民泊)やガイド(外国語対応スタッフ)登録といったシェアリングサービスの取り組みを、災害時にも活用を
- 男女共同参画センターの業務を充実させ、多様な会場で企画の実施を

ご参加お待ちしております
議員とお話しませんか!

5月21日(木) 10時半～12時
千葉市議会応接室(市役所隣)

予算審査特別委員会 報告

「みんなで使う」方向性を提案

総務分科会

公共施設について、見直しが検討されています。公共施設の統廃合については「施設の削減は賛成、しかし、身近な施設の廃止は反対」となる場合が多いため、できるだけ早い時期に地区別の話し合いをする必要があります。

高齢者、子育て世代など特定の年齢層のみを対象とした施設ではなく、譲り合いと工夫によって「みんなで使う」方向性も検討するなどして、公共施設を効果的かつ効率的に活用するよう要望しました。(松井)

市民ネットの要望が実現

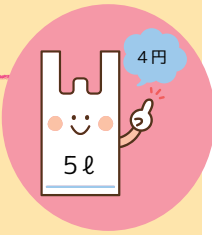
教育未来分科会

- ・困難を抱える子どもを支援につなぐ「こどもナビゲーター」(稲毛・中央区に1人ずつ)の活動実績が評価され、新年度から若葉区にも配置されます。
- ・不登校児童生徒への学習支援で、フリースクールで科学実験などの実践活動を行うモデル事業が始まります。
- ・発達障害等の子どものための「LD等通級指導教室」への巡回指導(4区で実施)の効果が認められ、緑区・花見川区へも展開することになりました。(岩崎)

5ℓごみ袋登場

ごみが少ない世帯からの要望に応え、新たに「5リットル」の可燃ごみ指定袋をつくる条例改正が行われました。1枚4円で夏に登場します。なお、今年3月からは指定ごみ袋を一部のコンビニでレジ袋代わりに販売するモデル事業も始まっています。

ごみとなるレジ袋の削減をすすめるために、市民ネットワークでは、指定ごみ袋のばら売りを以前から提案していました。本事業を評価するとともに、引き続きエコバックを推奨するなどの取り組みを提案しました。



一般質問

岩崎明子(若葉区)

■ 実は便利な「シェアサイクル」

中央区・美浜区を中心に増えているシェアサイクル(時間貸自転車)。楽しい使い方紹介や、一日体験講座を開く等、使ったことがない人への積極的な広報を求めました。公共交通で着いた場所から最終目的地までの移動に便利のため、加曽利貝塚等へ行きやすい場所への設置も要望しました。



■ 洗濯物を汚す黒い粉の発生源対策を

長年臨海部の住民を悩ませてきた「黒い粉じん」。全市的な調査結果の解析で、「製鉄工場の影響が比較的大きい」と認められ、「主要な発生源にかかる対策を、優先的に講じる必要がある」と提言されたのは大きな前進です。事業者・住民・千葉市で情報共有を図り、一日も早い粉じん被害の軽減を要望しました。

■ 手入れ不足の森林を救え！

市の調査では、森林整備人材の不足等、課題がわかりました。森林環境譲与税を財源とした人材育成、また、病気のない森林を維持する技術研究と、森林に関するシンポジウムも進めるよう要望しました。

■ 家族のケアを担う子ども「ヤングケアラー」

家族の介護を子どもが担う場合、宿題の時間が取れない等悩みを抱えることがあります。子どもを支援につなげやすくするため、地域に理解者を増やす周知啓発を求めました。また、ヤングケアラー同士が語り合える場の創設等を要望しました。

■ 安全な給食は情報公開から

原発事故現場の処理は未だ収束していないため、給食食材の放射性物質検査を継続するよう要望しました。また、安全性について保護者が相談できる窓口をわかりやすく周知するよう求めました。



■ 学校での性暴力・虐待は許さない！

児童への性暴力で逮捕された千葉市の元教員に懲役14年が求刑されました。二度と子どもの尊厳が傷つけられることのないよう、再発予防対策の検討とセクハラアンケート調査を第三者が行うよう求めました。

■ 地域に愛される図書館は人が創る

千葉市が策定する「図書館ビジョン2040」には、インターネット社会に合わせた変革が描かれていますが、図書館の価値はそこで働く人や利用する人が作りだすものです。経験を積んだ図書館司書を地域とつなげ、社会教育に役立つ図書館づくりに取り組むよう要望しました。

視 察 報 告

農業と福祉の連携(=農福連携)について、先進的な取り組みをしている香川県を1月に視察しました。

「人手不足の農業事業者」と「就労の場を求めている障がいのある人」のコーディネートをおこない、障がいのある人が、農業分野での就労ができるよう、さまざまな事業をすすめています。

讃岐うどんに必須のねぎの集荷場での作業を見ました。洗浄など一部の工程で、障がい者もスタッフと一緒に作業をし、工賃を受け取ることができます。千葉でも、農福連携のコーディネート機能を提案していきます。



農家から集荷場に届いたねぎは箱詰めされて出荷